

■山田孝雄 国語学者。中学を中退後独学。国文法研究の基礎を確立するも、文学博士は20年後。在野で夥しい数の名著。

やまだよしお

初の民間工場1875＝ 富山総曲輪で、旧富山藩士で維新後新潟県の弥彦神社禰宜となった山田方雄の次男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 6歳：

秩父事件・・・1884＝ 9歳：

国民之友始・1887＝12歳：父が勤めていた富山県尋常中学に入学したが、
初の対等条約1888＝13歳：事件の責任を負わされて父が辞職したため、自らも退学、以後生涯を独学
帝国憲法発布1889＝14歳：

足尾鉋毒始・1891＝16歳： 生年をさば読んで、小中学校教員検定試験に合格し、
大本教・・・1892＝17歳： 小学校の教壇に立ち、
郡司千島探検1893＝18歳：
日清戦争始・1894＝19歳：
日清戦争終・1895＝20歳： 尋常中学校・師範学校国語科教員の免許を得て、
白馬会・・・1896＝21歳 親戚の世話で、丹波篠山鳳鳴義塾に赴任、
国語学を講じるとともに、強い関心を抱いて研究を開始、

子規句歌革新1898＝23歳：奈良県五条中学に転じ、
何れの学校でも舎監を兼任して研究を進め、

田中正造直訴1901＝26歳：高知県立第一中学教諭に転じた後、古来の国文法研究に西洋の論理学を取り入れ、整然とした論理体系の「
日本文法論」を完成したが、出版は容易でなく、
教科書疑獄・1902＝27歳：*分冊として、ようやく1割余を刊行、「山田文法」が知られるようになり、
「奈良朝文法史」「平安朝文法史」がほぼまとまると、

日露戦争終・1905＝30歳：
満鉄発足・・・1906＝31歳： 辞職して上京、文部省国語調査委員会補助委員となり、
韓国反日暴動1907＝32歳：「中等教育国語沿革大要」、
アヲラヰ創刊・1908＝33歳：*大著「日本文法論」全体を刊行、以後の国文法研究の重要な基礎を確立した。併せて学位請求論文として文
部省に提出するも、無学歴のため放置され、

韓国併合・・・1910＝35歳：<大逆事件>で国家の将来を憂え「大日本国体概論」を著すなど、保守的立場を明確にして行く。
大逆事件判決1911＝36歳： うちの平家物語研究の基礎となる「平家物語につきての研究(前編)」刊行、
明治天皇没・1912＝37歳：
大正政変・・・1913＝38歳：「奈良朝文法史」「平安朝文法史」刊行。国語調査委員会の官制廃止で、以後純粹に在野の学者となる。
第一次大戦始1914＝39歳：「平家物語につきての研究(後編)」「平家物語の語法」刊行、

民本主義・・・1916＝41歳：大槻文彦の複製刊行に成る「新選字鏡」の本文校訂・索引作成に当たり、
上田万年に諮って、

本格政党内閣1918＝43歳： 「一切経音義」の複製に着手、
ベルサイユ条約・1919＝44歳：朝鮮に旅行して、高麗版「一切経音義」を調査、
大暴落・・・1920＝45歳：日本大学に講師となる。製版所が火災となり、
原敬首相暗殺1921＝46歳：
水平社結成・1922＝47歳： 「日本文法講義」刊行、
関東大震災・1923＝48歳： 橋本進吉・正宗敦夫らと{古典保存会}を創立し、写真版による複製を開始。
護憲三派圧勝1924＝49歳： 敬語法の体系的な研究としては最初となる「敬語法研究」を刊行、
治安維持法・1925＝50歳： ようやく「一切経音義」刊行。文部省仮名遣改正案反対意見を{明星}に書き自費頒布。東北帝国大学講師、

金融恐慌・・・1927＝52歳： 教授に任ぜられ、
共産党事件・1928＝53歳：「万葉集講義」刊行開始、
世界恐慌・・・1929＝54歳：「仮名遣の歴史」。*20余年を経て、ようやく文学博士の学位を受けた。

満州事変・・・1931＝56歳：

国際連盟脱退1933＝58歳：「国体の本義」。年齢2年さば読まれていたため、この年定年退官、
帝人疑獄事件1934＝59歳： 文献学上の名著「典籍説稿」「典籍雑攷」。名著「源氏物語の音楽」。
芥川直木賞始1935＝60歳：文部省の教学刷新評議会委員。「漢文の訓読によりて伝へられたる語法」「古事記序文講義」、

日中戦争始・1937＝62歳：教学局参与となる。「万葉集講義」完結。日本文字概説書として類無い「国語史文字編」・名著「連歌概説」、
健保+総動員1938＝63歳：

大政翼賛会・1940＝65歳：「古事記上巻講義」「国語の中に於ける漢語の研究」。神宮皇学館が大学に昇格し、その学長に就任、
日米開戦・・・1941＝66歳：

<戦時体制>下、国事に奔走し、全国を行脚、
創価学会検挙1943＝68歳：「神道思想史」「国語学史」。{古典保存会}の写真版複製はこの年まで20年続いた。
年金+総武装1944＝69歳：貴族院議員、
敗戦・・・1945＝70歳： 国史編修院長となったが、<敗戦>後、公職追放となって退職。

新憲法施行・1947＝72歳：
<敗戦>後の混乱を経て、
三大事件・・・1949＝74歳：仙台に移住。以後、芭蕉七部集辞典の著述に取り組み、
朝鮮戦争始・1950＝75歳：「年号詠方考証稿」、
独立回復・・・1951＝76歳： 追放解除。長年の研究成果「三宝絵略注」を刊行、

TV放送始・・・1953＝78歳： 文化功勞者、

国連加盟・・・1956＝81歳：「君が代の歴史」。画期的な業績「誹諧文法概論」となる。
なべ底不況・1957＝82歳： 文化勲章受章して、
インスツトゥーシ・1958＝83歳： 没した。
その他、「五十音図の歴史」「平家物語考」「日本歌学の源流」など。

明治書院「日本語学者列伝」、没年日本史人物事典、平凡社百科事典、